

1 アンケート調査

景勝・小倉山の会会員を対象に、後期計画策定や、今後の森づくり活動に繋がる意見等を伺うためアンケート調査を実施した。アンケート配布数は63件で、回答数は30件であった。アンケート内容および回答が得られた結果を以下に整理した。

1. アンケート内容

アンケート調査内容は次のとおりである。

**アンケート調査票**

**質問1. 森づくり活動への参加について**（該当する項目を○で囲んでください。）

①「景勝・小倉山を守る会」の森づくり活動に参加されたことはありますか？  
 ア) ある イ) ない

②「ある」と答えた方のみお答えください。活動日として適当な日にちを教えてください。  
 ア) 平日 イ) 土曜日 ウ) 日曜日 エ) 土曜日・日曜日どちらでもよい

**質問2. 森づくり活動への支援金について**（該当する項目を○で囲んでください。）

①資材購入など、森づくり活動を続けていくには活動資金が必要となります。活動を支援する「協賛金サポーター会員」として、活動を支援していただくことは可能でしょうか？  
 ア) 金額によって支援する イ) 支援しない ウ) どちらともいえない

②「金額によって支援する」と答えた方のみお答えください。「協賛金サポーター会員」として毎年、支援していただいた場合の入会希望金額を教えてください。  
 ア) 3,000円 イ) 10,000円～20,000円 ウ) 20,000円～30,000円  
 エ) 30,000円～40,000円 オ) 40,000円～50,000円 カ) 50,000円以上

**質問3. 技術的支援について**

①森づくり活動を活性化させていく上で、ご自身がお持ちの「技術」があれば教えてください。  
 例) 小倉山の昔話が語れる、チェーンソーが使える・使い方を教えられる  
 樹木や花の名前を教えられる等

②ご自身が森づくり活動に繋がるイベントの講師になり、地域の方々に伝えたいことはありますか？  
 ア) ある イ) ない ウ) 検討中

③その場合、どのような内容のイベントやワークショップにしたいと思いませんか？

**質問4. 小倉山の風景について**

①小倉山の風景について大切にしたい場所、再生したい場所を下記のA～Gで選んでください。また、A～G以外に該当場所がございましたら、図上に○印をご記入ください。（複数回答可。）



A: 嵐山公園と繋がる場所  
 B: 祇王寺周辺の森林  
 C: 尾根筋（山頂部方面）  
 D: 化野周辺の森林  
 E: 尾根筋に近い森林  
 F: 小倉山山頂部周辺  
 G: 尾根筋（六丁峠方面）  
 その他：A～G以外の場所を選んで具体的な理由を、ご記入ください。

②小倉山の魅力を高めるには、どのような森づくり等が必要だと思われるか？（該当する項目を○で囲んでください。複数回答可。）

ア) 四季の彩りが感じられる森林再生を拡大する イ) モミジやサクラの名所をつくる  
 ウ) 小倉山から市街地を眺めることができる休憩場を設ける  
 エ) 嵐山公園から山頂までの既存の山道を整備する（明確にする）  
 オ) 山中に道しるべや案内板を設置する カ) 小倉山を紹介する季刊誌などを発行する  
 キ) 植樹活動以外に大勢が参加する森づくりイベントを開催する

（植物例：  
 ク) その他

**質問5. 小倉山の昔を回顧するよう古い写真をお持ちの方のみお答えください。** 写真をお借りした後、ご使用させていただくことはできますでしょうか？  
 ※) お借りした写真は、過去と現在の比較写真データとして本事業等で活用させていただきます。  
 ア) できる イ) できない

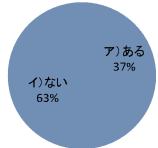
**質問6. その他**  
 小倉山の森づくり活動や森林再生計画について、ご意見・ご要望など、ご自由に記入してください。

2. アンケート調査結果

アンケート調査結果は次のとおりである。頂いた回答、ご意見等を整理・考察を行い、後期計画策定に活用することとする。

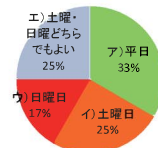
質問1①「景勝・小倉山を守る会」の森づくり活動に参加されたことはありますか？

- ア) ある：11
- イ) ない：19



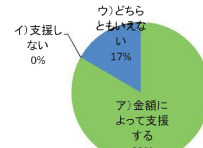
質問1②「ある」と答えた方のみお答えください。活動日として適当な日にちを教えてください。

- ア) 平日：4
- イ) 土曜日：3
- ウ) 日曜日：2
- エ) 土曜日・日曜日どちらでもよい：3



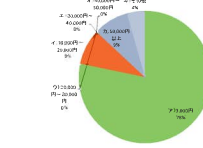
質問2①資材購入など、森づくり活動を続けていくには活動資金が必要となります。活動を支援する「協賛金サポーター会員」として活動を支援していただくことは可能でしょうか？

- ア) 金額によって支援する：25
- イ) 支援しない：0
- ウ) どちらともいえない：5



質問2②「金額によって支援する」と答えた方のみお答えください。「協賛金サポーター会員」として毎年、支援していただいた場合の入会希望金額を教えてください。

- ア) 3,000円：18
- イ) 10,000円～20,000円：2
- ウ) 20,000円～30,000円：0
- エ) 30,000円～40,000円：0
- オ) 40,000円～50,000円：0
- カ) 50,000円以上：2
- キ) その他：1 (5,000円)

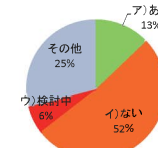


質問3①森づくり活動を活性化させていく上で、ご自身がお持ちの「技術」があれば教えてください。

- ・ いけばな嵯峨御流講師 いけばな体験実施
- ・ 機関紙のアイデアが出る
- ・ 少しチェーンソーが使えます
- ・ 剪定を教えられる
- ・ チェーンソーが使える
- ・ 特にありませんが、現場での実情に即した閃き。即効性のある事。  
 樹木名を子供に教えて興味を抱かせることが大切
- ・ 伐採木を用いた彫刻やカトラリー作り
- ・ ランドスケープデザイン、生態学、植物の名前
- ・ 林業機械等の操作方法等を教えることができるが、遠方のため無理

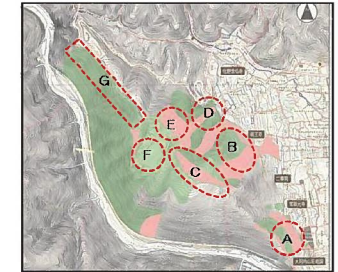
質問3②ご自身が森づくり活動に繋がるイベントの講師になり、地域の方々に伝えたいことはありますか？

- ア) ある：4
- イ) ない：16
- ウ) 検討中：2
- その他：9



質問4①小倉山の風景について大切にしたい場所、再生したい場所を下記のA～Gで選んでください。また、A～G以外に該当箇所がございましたら、図上に○印をご記入ください。

- A: 嵐山公園と繋がる場所：16
- B: 祇王寺周辺の森林：9
- C: 尾根筋（山頂部方面）：9
- D: 化野周辺の森林：7
- E: 尾根筋に近い森林：2
- F: 小倉山山頂部周辺：8
- G: 尾根筋（六丁峠方面）：2
- その他：7



質問4②小倉山の魅力を高めるには、どのような森づくり等が必要だと思われるか？（複数回答可）

- ア) 四季の彩りが感じられる森林再生を拡大する：22
- イ) モミジやサクラの名所をつくる：18
- ウ) 小倉山から市街地を眺めることができる休憩場を設ける：15
- エ) 嵐山公園から山頂までの既存の山道を整備する（明確にする）：16
- オ) 山中に道しるべや案内板を設置する：12
- カ) 小倉山を紹介する季刊誌などを発行する：6
- キ) 植樹活動以外に大勢が参加する森づくりイベントを開催する：5
- ク) その他：1

具体的意見

- ・ いずれも大切にしたいが、まずは JR 嵐山駅、丸太町通、渡月橋から見える範囲  
 ・ 常寂光寺の裏山  
 ・ 全てが大切にしたいですが、最初は植生や治山景観上、手を入れやすい場所から直していく  
 ・ 東側から小倉山を見た際スギ・ヒノキが植林された一帯が不自然な景色で気になる

質問5. 小倉山の昔を回顧するよう古い写真をお持ちの方は、写真を活用させて頂けますか？

- ア) できる：0
- イ) できない：4

質問6. その他ご意見

- ・ 技術的には何も無いですが、自然を守りたい気持ちはあります。”
- ・ google で検索すると小倉山の夜景はきれいだというブログがあったりします。  
 安全に登れるよう道を整備してほしいと思います。”
- ・ ただ伐採して植林するだけでなく、伐採した木を燃料などへ再利用して生活に取り入れるなど、体験施設ができるとよいと思う。”
- ・ 植林した木から収穫も体験できるとより身近に感じる山になって魅力が増すように思う。”
- ・ 小倉山だけでなく、国有林嵐山もよく似た状況下にあります。やまや川はそこだけ良くしても意味がありません。国、府、市の垣根を超えて全体として嵯峨嵐山の景観を守り後世に継いで行く事が重要です。サスティナビリティ「環境」+「社会」+「経済」の3つの観点から20年後、100年後も持続可能な景勝地としての嵯峨嵐山を。”
- ・ 京都の自然景観は歴史的文化的景観でもあるので、単に自然保護すればいいという問題ではない。”
- ・ 土・日の活動を増やしていただくと参加できる機会が増えて交流も深まると思います。お金だけ寄付してる感じ。”
- ・ 活動は必要だと思います。出来る形で応援いたしますので、頑張ってください。”
- ・ 一回寄付したことはあるものの、現地での説明や実際に体験するなどの行事を企画してからの方が、今のままでは協力し兼ねます。なぜ小倉山なのかもわからない。”
- ・ がんばってください。

2 地域連携方法の検討

今後、小倉山の森林再生を行っていく上で地域の方々等が力を合わせて維持管理活動等行っていく必要がある。そのため、アンケート調査を実施し、その結果から地域連携方法の可能性を検討した。

<質問内容>	調査結果	課題や展開方法	地域連携方法
「景勝・小倉山を守る会」の森づくり活動への参加経験	ない(19)、ある(11)という結果。 ⇒社会貢献の役割や方法は、①技術、②マンパワー、③資金の3つと考えられます。会のメンバーからのご意見と考えると、③に貢献されていることがわかる。	マンパワーとしての参画拡充	現活動日である第1金曜日とともに、土日に活動日を増やして、仕事を持った若い世代の親の参加を促す。
活動日として適当な日	⇒現状活動日は平日：月の第1金曜日(4)のみであるが、土日活動希望(8)の意見も多いことがわかる。	休日など参加しやすい曜日設置	
協賛金への理解	⇒資金面での社会貢献性への関心の高さが分かる	活動に参加したいという気持ちを向上させる	地元の方々イベント講師になり、森づくり活動のきっかけとなる行動を起こしてもらおう。その結果、地域の人々の横の繋がりからの情報発信と、興味をもった方々の参画を拡充を期待する。
協賛金の金額の妥当性	⇒3,000円(18)、10,000円～20,000円(2)、50,000円以上(2)、5,000円(1)であることから、現会費(協賛金)が妥当	_____	
得意とすること(技術)の有無	⇒ランドスケープ、チェーンソー、カトラリーなど多様な技術を持たれている方が入会されていることがわかる。	森づくり活動に関心が向くようにする	山麓寺院や山頂に向かう山々の1つの景観として四季彩をテーマに整備を行い、関心や向上心を高めるためのきっかけづくりを行う。
地域の方々に伝えたいこと	⇒地域の方々へ伝えたい方(4)、検討中の方(2)、その他(9：関心はあるがスキルがない)という結果から地域のために何かをしたいということがわかる	きっかけをつくる	
小倉山の風景で大切にしたい場所、再生したい場所	⇒嵐山公園近く(16)、山麓寺院付近(化野念仏寺、祇王寺)(15)、尾根(9)、山頂(8)から既整備地である嵐山公園から山麓寺院周辺への関心の高さがわかる。また、山頂へ通じる登山道や山頂付近の未整備地への関心が高いことがわかる。	現活動場所は山麓寺院である。山頂付近への関心も高いことから整備後の関わりにも期待ができる	
小倉山の魅力を高めるために必要なこと	⇒四季彩(22)、景観向上(18)など森林景観の向上に関心が高いことがわかる	目指すべき森林目標について情報発信を行い、関心を高める	